

養う 起業家精神

酒田・高校生対象の育成講座

ビジネスプラン作成へ

高校生たちが、起業家に必要な精神や資質、能力を



「アントレプレナーシップ育成講座」が9日、酒田市の産業振興まちづくりセンター(サンロク)で開講した。講座は酒田東高がサンロクと連携して2018年度から繰り広げてきたが、本年度からは他校の生徒も受け入れ、地域課題の解決などにつながるビジネスプラン作成を目指す。

初回は同校と酒田西、酒田光陵の3校から1〜3年生16人が受講した。講師の平尾清さん(同市政策参与)が、ビジネスで重要な9要素を図式化した「ビジネスモデルキャンバス」(BMC)をはじめとするツールの活用や、魅力的なプレゼンテーションに向けた指導、生徒に助言などを行う「メンター」として、地元の経営者らを配置するといった講座の特長を説明。仲間と励まし合いながら果敢に挑戦し、自分自身でつくってしまっている「限界」を突破してほしいと呼び掛けた。

生徒たちは自己紹介した後、「大学進学後に起業するため、ビジネスの知識を身に付けたい」「現在、学校で取り組んでいる、ジェンダーに関する課題研究の進展に役立てたい」など目標を語った。来年2月まで、全員参加の集合研修を月1回開くとともに、フィールドワークや地元の起業家などとの交流イベントを繰り広げる。(吉村瑛人)

酒田市